

4月のくらし

婦人週間
春の社会教育週間

広報かわにし

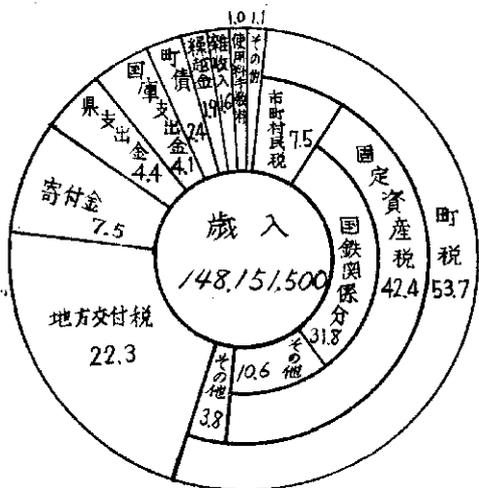
発行所 川西町役場 編集人 星名四郎
発行町 川西村 印刷所 星名四郎社

人口の動き

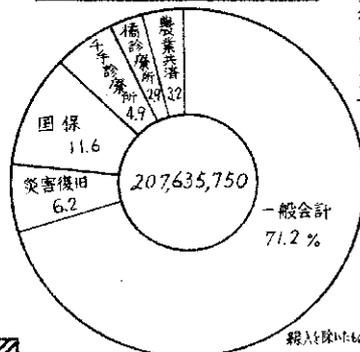
4月1日現在

男 6,619人
女 6,917人
計 13,536人
世帯数 2,698世帯

昭和38年度一般会計予算



昭和38年度当初予算の内訳 (単位千円)



昭和32年度決算額	88,120,638
33	97,245,628
34	101,736,190
35	110,440,376
36	122,478,413
昭和37年度決算額	138,942,487
昭和38年度予算額	148,151,500

ことしの予算は
健全均衡財政をモットーに
重点は相変わらず教育と産業
総務課庶務係長 小川伊作

本年度予算は、編成当時から、健全均衡財政のワケ内で、編成しなければならぬと強調していたので、歳出面の予算要求額は、昨

本年度予算は、編成当時から、一年以上であったが、県の指示もあって別掲のとおり去る三月十九日に議決された。よって本年度の予算執行に当た

っては、細心の注意を払い、きめられた予算内で、最大の効果を上げるよう、いわゆる地方財政法の本旨により堅実な歩みをいたしたいと心に誓っている次第である。

以下普通会計並びに特別会計をわかりやすく図表に示してお伝えします。

四月の行事

- 二日 県選告示
- 三日 伊友ポンプ入魂式
- 六日 水害予防組合会議
- 七日 橋地区婦人会
- 八日 選管会議
- 十二日 農地相談日(上野連絡所)
- 十三日 農町村会 (町長)
- 十四日 農町村会 二日間
- 十五日 千手地区婦人会
- 十五日 旧公民館競売
- 十七日 県選投票日
- 十八日 上野地区婦人会
- 二十三日 教員面談会 (役場)
- 二十五日 臨時議会
- 二十九日 天皇誕生日

アンバランス

なかなか、にぎやかで結構じゃないか。
（なにがにぎやかで結構だい？）
そうとほけるなよ。E君とR君が結婚するそうだし、M君もそろそろだとニュースは東京まで流れているんだ。それに、ご多聞にもれず、この選挙戦だろう。にぎやかでなくて何なの。
（都知事選挙は保守、革新のどちらが強そうだい？）
そうだな、例の公明政
治連盟の支持で保守が強
いだらう。
（うんうん）
それよりさ、最近こ
ちの結婚式はどんなや
り方になってきたか話してくれよ
（そうだな、式そのものは別として、ひろく宴の会費制というのが多くなっているな。式にしても、公営結婚がよくみられるし、ひろく宴の会費のことでは、十日町の話だけれども、公社の職員で、五百円会費の招待状を出して百二十人も集まったなんてのを聞いたことあるよ）
そうすると、式場の問題など施設設備に差があるから比較はよく

町づくり

できないが、考え方としては東京とかわからないじゃないか、むしろ東京近辺でまだ足入れ婚の風習があるそうだから、川西はとて進んでいると思う。
（そういうもんかね）
おいおい、久しぶりに逢ったというのに、そう自信のなさそうなことを言うなよ。
（うん、自分たちの町が進んだ考え方なのは良いが、その足入れ婚が現存するというのは本当なのかい？ 本当だとすると、結婚という問題だけでも、現代的だといわれる考え方、非現代的！ 前近代的といってもいいがね！ 形式が同じの世の中にあるということだろ。世間が化物に見えてくるじゃないか）
同じ世代がなじまないというからおれなんか商売会社に勤務しているけれども、一方が他方をふみ台とするような二重構造性を感じることもある。どこにいても身につまされるのはアンバランスということなんだ...
（そうさ、世代の違いなんてもんじゃなく本当は移り変わりの激しさにみんなついてゆけないんだ、選挙だって制度が先走りのしてさ）

付記

歳出昨年度と比較して

▲議会費百十四万七千円の増は、主として議員の報酬とそれに伴う手当である。

▲役員費百九十四万円の増は、職員給与のベースアップ、その他費用の増高である。

▲消防費百三十五万円の増は、団員給与と被服購入費並びに防火水槽の新設とポンプ、ホースの購入費である。

▲土木費八十六万六千円の増は、災害復旧費が一般会計へ組み替えられたため内容においては、さほどの増ではない。

▲教育費三千八百六十三万円の増は、昨年特別会計として取り扱ってきた学校建築が一般会計へ持ち込まれたためである。各学校予算等においては、上野小学校の屋根移築が百万円目立つただけ他は相当切りつめた予算である。これも川西中学校建築完成のためご了承をねがったものである。

▲社会及び労働施設費においては失業対策事業費が百七十五万七千円が廃止されたのであるが、一面児童福祉費の六十七万四千円を始め、保育所の二十八万等、若干の増をしめしている。

▲保健衛生費は、昨年より十八万三千円の減であるが、この費用は義務的経費が多いので、必要にせまれば専決で事業がなされるのである。

▲産業経済費においては、四十九万三千円の減であるが、これは、松葉沢池の借入金返済が昨年で完了したのでその三十五万と、ブ

町議会報告： 助役に田口氏を選任

二億をこえる新年度予算

三月六日招集以来会期十六日間にわたる第三回定例町議会は、会期を一日延長して三月二十一日春分の日にその幕を閉じた。この間本会議四回、常任委員会延三回を開いて、審議した総件数三十五、成立を見た新年度予算の総額は二億一千五百万の巨額に達し、質量ともに年間を通じて最大の定例会であった。

ルーターの運行費の減少が見込まれたのである。

▲財産費三百二十六万三千円減は、千手グラウンド買収費百万円と橋診療所宅地敷地買収費二百六万円がその主なるものである。

▲統計調査費九万二千円の増は、調査員手当の増額分である。

▲選挙費二十三万三千円の増は、県会議員の選挙費である。

▲公債費七十四万八千円増は、川西中学校建築債の償還がふえた分である。

▲諸支出金一千九百九十九万六千円減は、昨年度繰出金として川西中学校特別会計へ出したのが、本年は一般会計へ吸収したのその分と、新たに増加した橋診療所の百六十六万一千円とその他諸支出金の操作した差額である。

▲予備費は昨年の約倍額用意してあるが、まだまだこの額では理想額の半分である。

昭和38年度川西町一般会計歳入歳出科目別比較表

Table with 4 columns: 科目 (Category), 前年度 (Previous Year), 本年度 (Current Year), 増減 (Change). Rows include various budget items like 一般会計歳入 (General Accounting Income), 一般会計歳出 (General Accounting Expenditure), etc.

川西中屋体は三千六百万

新年度一般会計審議の経過

中でも一億四千八百万にのぼる三十八年度一般会計予算については、すでに編成の段階において並並ならぬ苦心と曲折があったが、議会の審議も本会議の半分と委員会の全部をこれに充当して慎重審議の結果、三月十九日当局の原案どおり可決成立した。また、懸案の助役については、かねてより慎重に選考が進められていたところ、再開第一日の十九日へき頭、中村町長より四月一日付で総務課長田口一男氏を助役に選任したい旨提案され、満場一致これに同意した。なお、押木助役は三月末日限り退職することとなったので、十二月定例会で制定議決した助役の定数を二名とする条例は、日の目を見ないままこの定例会で廃止された。

年々歳々当初予算編成からその成立に至る過程には生みの悩みを満喫させられるわけであるが、この一般会計についてはとりわけそれが深刻であったと言える。その焦点となったのは建設三年目を迎えた川西中学校の屋体建築という大事業であることはいままでない。特に、屋体はその構造上二年に分けて作ることが困難である上に、補助・起債の総額が事業費の二割にも満たない少額であること等が予算措置の困難性を倍加した。

加えて、仙田中学校は室島の第一分校統合問題と関連して寄宿舎の増築が焦眉の急となっており、また上野小学校は屋体と教室をつなぐあの長い廊下が雪で倒壊したので、屋体を移築しなければ日常の教育活動にも支障をきたす状態であり、橋小学校でも便所を改築しなければならぬ、といったのびきならない事情が重っている。これらを、自然増で膨張している経常費と合わせて、限られた財

委員会 慎重審議

翌七日から委員会審議にはいったが、このように正式に常任委員会に付託して審議したのは三十二年以来はじめてのことである。七日には産業建設委員会、八日文教厚生委員会、九日総務財政委員会とそれぞれ一日ずつの会期で予算の細部について詳細な審議を行なった。

世論を 尊重して断行

招集当日の三月六日に上程された一億四千八百万余の三十八年度予算について、まず中村町長から予算編成の経過と、その間における県地方課との折衝の模様、補助起債及び地方交付税の見通し等について詳細な提案理由の説明がなされた。特に川西中学校屋体建築については「いまさらこの計画を変更するということはできないので、背水の陣を張って勇敢に所定の方針に基づいて与論を尊重してこれを実行しなければならぬ。」とその決意を述べ、総額四千二百万を必要とするところ、本年は屋体本館と玄関だけを素建てとし、あとは便所も内部施設も全部三十九年度にまわし、ぎりぎり三千六百万を本年度分事業費として計上した、と説明した。

次いで所管課長から各款毎に詳細な予算内容の説明が行なわれたが、何しろ膨大な内容なので予定時間を超過し、午後五時までにようやく一通りの説明を終了した。そこでこの日に予定した総括質疑を省略して、直ちに三つの常任委員会に分割付託し、この日の会議を閉じた。

十九日再開第一日。まず委員会審査の経過及び結論についてそれぞれ付託された常任委員会の委員長から、総財(内山常治郎)、産

建(平野圭二)、文厚(田村才一郎)の順に報告があり、ついで中村町長からその後の経過について補足説明があったのち総括質疑にはいった。

質疑については、旧上野中学校校舎を仙田中学校へ移築転用の問題について活発な発言があり、仙田地区・上野地区それぞれの立場から応酬が行なわれたが結論を得ず、後日にゆずることとなった。

その他上野地区県道舗装を含む国道道改修の問題、職員定数の問題、室島林道、ナメコ生産、仙田中一分統合同題等、細部にわたって質疑が続けられ、午後五時過ぎのぎりに討論採決の結果、起立全員で可決された。

和久井議長ら 表彰さる

三月十日新潟市体育館において挙行された新潟県町村議会議長会創立十五周年記念定期総会において、当町から和久井精一議長、田中三郎、水品正一郎各議員の三氏が自治功労者として表彰された。このうち、和久井議長、田中議員は勤続十五年以上として、全国町村議会議長会長(石田真宗)から表彰状並びに記念品を、また、水品議員は十二年以上勤続者として、県町村議会議長会長(伊藤正一)から表彰状並びに記念品を授けられた。

就任のことば

田 口 一 男



今回不肖の身をもって、町の助役に任命されました。

題を抱えての歩みが続くわけでありませう。

「人の和こそ解決発展の基」ということを信条とし、人情味豊かなこの郷は、わたくしども祖先の営々辛苦して築きあげられたものであって、わたくしどもまたこの地を守り育ててゆく責務のあることは論をまたないところであります。

元来の無能鈍才、今日までいたずらに上司の庇護に甘え、且僚友諸君の厚誼によって勤めて参ったのであります。果してこの責務が完遂できるかどうかはなほ危険の念でいっぱいではありますが、皆々様がたのご指導とご協力によって誠心任務の遂行に勤めたいと考えています。

さて、町の振興諸事業も逐年順調に進捗してきている状況ではあります。なほ前途幾多の重要問題

わたくしは町の職員であるとともに、また川西町の住民の一員でもあります。また、わたくしども子孫の永住すべき地であるということをつねづね念頭においてすべての物事に対処し、しき力ながら町の発展のため心して勤めたいものと念願している次第であります。

何とぞ今までと変わりなきご指導とご鞭撻を切にお願いいたします。あいつつといたします。

成人式のおしらせ

- 一 期 日 五月五日
- 二 時 間 午前十時より
- 三 場 所 川西町中央公民館
- 四 該 当 者 昭和十七年一月十六日より昭和十八年一月十五日生まれまでの人
- 五 その他 服装はできるだけ簡素にいたしないう。

(旧千手中学校)

先人の歩みと紋瑞和尚

世の中のうつりかわりがはげしくなると、先の見とおしと違っていきことが精いっぱい、もちろん昔の語など思いかえしてみる余裕すらなくなってしまう。だから、私たちの祖先の功績やその陰にかくれた苦勞などは、いまのわたしたちにとって、全く無用の物語りになっていくのではないだろうか。

しかし、私たち自身がそれぞれの父母をもち、祖父母がのちに祖先たちに連る系譜をもっている以上、そして私たち自身の成り立ちを考えてみるときは、これら先人の歩んで来た姿は大切な鏡になつてくるのではないだろうか。

中魚沼郡誌には、郷土の模範とすべき人たちの功績が何人かあげられ、川西町にゆかりのある人たちは、球宗禪師・増田枕石・田口藤内・慈禅和尚・千文和尚・義忠和尚・庄屋忠兵衛など十指に余る業績が述べられている。

また、千手の南雲政治氏(七十才)の著作である「川西町人物風土記」にも、郷土の開発に努めたいくつかの例があげられる。知っている人だけが知っているだけ、おかしな言い方であるが、そういうことだけでなく、もっとも先人の好例を伝えていきたいものだ。

あったという。慶長年間(いまから三百六十年前)に景勝が会津へ移封されたときに土着をして、兄は三島郡塚山に留り、弟は浪海川に流れる葉の葉を見て上流の部落を探ねながら赤谷にまで上って来て百姓となった。現政吉氏は十六代目に当るといふ。

家身、儀右衛門ドンとか太郎右衛門ドンとかいわれるが、これは十一代目・十三代目の主人の名で、いずれも部落の指導的役割について村人のため努力を続けて来た。

ふるさとをさぐる

儀右衛門の次男は、幼名を萬藏と呼び、村人があげて感心する優秀さを幼いときからもっていた。父はこの才能を百姓のまま埋もれさせずの借しく、思い切つて室島部落にある相国寺で髪をおろし、僧籍に入れた。萬藏は僧名を祥山と与えられ、仏道修行に励み学問に精進を続けた。相国寺時代の逸話も少くないようだが、次第に栄進して上州箕輪にある龍門寺十七世の住職となった。この寺は、近江の井伊家(榎田門外)の変で死んだ井伊直弼などの菩提寺で、ここに二十七年間もつとめた祥山寂瑞大和尚は、各界各方面からの帰依者が多く、近江の系図を引く写本城主の井伊氏の遺崇も篤かった。井伊家からの拝領である煙草盆やギヤマンの容器、また見事な中国製の急須などが現に長谷川家に保存されているが、偉大な先人の足あとをひとつでも多く掘り出して、子孫のために残していきたいものではないか。

ふるさと

日本料理は目で食べるもの、などということがあるようですが、まことに食べてしまおうのがおいしいように美しい料理がたくさんあります。西洋料理では食卓に花をかざり、日本料理は食器の中に料理の花が咲いています。昔から日本人は美しく繊細な料理を愛してきました、その中でも花を食べる料理なんてすてきですね。食品として花を食べるのも日本独特のものとして聞きました。牡丹の花のおひたし、菊の花の三杯酢ふきのとうのつけあけ、サクラ茶、ジュンサイの花の漬汁、蘭の花を酒にうかべる蘭酒、等何とも風雅で栄養とか、カロリー計算とかはともかく、このあわただしい日常でも時にはその一品が単調になりがちな食膳を楽しくいたします。雪の中から青菜が出はじめました不足がちだったビタミンとあふれる春の香りが食べあきしない新鮮なみりよくとして食膳にのほほえています。もう十数日もすると菜の花のつぼみがふくらんでポチポチと黄味をおびてきたら、菜の花のお料理も春らしくていいですね。菜の花を頭だけつんできます。菜の花の黄味酢あえ、さつと塩ゆでして吸物汁に浸す卵一ヶ、だし大匙三、砂糖大匙三酢大匙三、片栗粉小匙半分を合わせて火にかけねつりさげ味の素を入れた黄味酢をあえ。辛子じょう油あえ。塩で漬けた菜の花漬は京都の名物でもあります。

いよいよ来る四月十七日は県議員選挙の投票日です。わたくしたちはあと一週間での候補者に投票するかをしつかりきめなければなりません。

県議員にどんな人を選ぶかによって、また正しい投票をするかどうかによって、県、町、ひいてはわたくしたちの生活がよくなるか悪くなるかといえます。

しあわせは自分の手でつくるものです。

わたくしたちの住んでいる新潟県をうるおいのある明るくものにするにはよい政治、行政が行なわれなければなりません。それにはまずこの選挙によってよい人、いかにすれば適任者を選ぶことが大切なわけです。

たとえば、ハンカチ一枚、ネクタイ一本買うにしてもなかなか慎重で、何軒もみくらべあるいはきんみしたりします。ところが選挙となるとどうでしょう。ハンカチやネクタイほど身近に感じないからといって「あの人には義理があるから」とか「頼まれたから」というようなことで候補者の人格や識見を見きわめず、情実や縁故等により選ばれる自分の意志によらないでいかげんにしがちでないでしょうか。

候補者のかかげている政策、公約等をよく見、よく聞いて、このたびの選挙には明るい社会をつくるため、みんながしあわせになるような政治や、識見をもち、公正に忠実にそれを実行する人を選びなければなりません。

一つの選挙が終わったときから次の選挙が始まるといわれており

ます。わたくしたちは選挙のときだけの思いつきのように「公明選挙」ということはを口にするのではなく、平常から政治に対する正しい判断力を養うことに政治や選挙に関することは自分自身の問題として自ら考え、選挙が終わったからもお互に勉強したいものです。このようにして政治に対する正しい考え方を持てば、公明選挙は必ず実現されるものと信じます

投票のご注意

投票のできる人

公明選挙

四月十七日は
新潟県議会議員選挙投票日
責任ある一票で
県会議員を選びましょう

満二十才以上の日本国民はすべて選挙権をもちておりますが、選挙人名簿に登録されていなければなりません。しかし、今回の選挙は投票日までに川西町から県外へ住所を移す予定の人は投票することできません。

県内に住所を移された人は居住地の市町村長の証明書により投票することができまから、詳細は選挙管理委員会でおたすねください。

投票の時間

投票のできる時間は午前七時から午後六時までですが、川西地区

については二時一時間くり上げたので(投票時間繰り上げお知らせ参照)ご注意ください。投票時間におくられると投票することはできません。ですからせつかくの選挙権を自ら捨てる結果ともなりますのでお忙しいですが、普段着でも野良着のままでも結構です。少しの時間をさいて投票してください。

字がかけないとき

自分で書くのが原則ですが字を知らなかったり、手にケガをしたりにして書けない場合は申し出によ

無効投票をなくしましょう

せつかく投票しても無効投票になっては無意味です。候補者の氏名を忘れたら投票所内に候補者の氏名等の掲示がしてありますからよく確かめて文字を間違いないようにしてください。

自分の名前を書いたり、二人以上の候補者の氏名を書いたり、候補者の氏名の他余計なことを書いた、だれに投票したか分らないもの、○△等の余計なものを書いたものや白紙のままの投票は無効投票になります。

投票のトジツは守られます

選挙ではだれに投票したかは本人以外だれにも決して分らないしくみになっています。自分でよいと決めた人に安心して投票しましょう。

棄権はやめましょう

自分が投票しなくともだれかがするだろうとか、きょうは忙しいからといって棄権することは主権者として政治に参加する大切な権利を自ら捨てるものです。四月十七日の投票日には、高い誇りと深い識見をもって、正しい責任ある一票を投じ、わたくしたちの進む道を自らの手で決定しようではありませんか。

四月十七日 新潟県議会議員選挙の投票時間繰り上げお知らせ

川西地区の投票時間を次のとおり繰り上げいたしましたから、間違いないように投票してください。(千手・上野・橋地区は午前七時から午後六時までです。)

投票区名	区域内の部落名	投票時刻	繰り上げた時間
才十投票区	中仙田・田戸 越ヶ沢	午前七時から 午後五時まで	一時間
才十一投票区	室島・霧谷・ 藤沢	午前七時から 午後五時まで	一時間
才十二投票区	赤谷・岩瀬	午前七時から 午後五時まで	一時間
才十三投票区	大白倉・小白倉	午前七時から 午後四時まで	二時間
才十四投票区	小勝	午前七時から 午後四時まで	二時間
才十五投票区	高倉	午前七時から 午後四時まで	二時間
才十六投票区	桐山	午前七時から 午後四時まで	二時間
才十七投票区	大倉	午前七時から 午後四時まで	二時間

川西町選挙管理委員会

発育の過程に起きる
 ささまざまな変化
 長い間、乳児期の発育過程についてこの欄をふさいで参りました。が私たちが保健婦がみなさんの家庭や部落を廻りて感じていることは、今まで書きました赤ちゃんとんの訴えをすなおにおかあさんが聞き入れてやれず、遠廻りをしてしようやく赤ん坊の思いどおりになり、赤ん坊も要求を通すのにひと苦労しているようです。例えば、お乳だけではお腹がすいて仕方がないのに「うちのママいつまでも水腹でふさいでくれず、早く同型食をくださいな」「熱すいたいのにママのバイバイも恋しくてよく眠れないわ」と訴えてきます。早く離乳してあげてくだ

室
 さい。また「ぼくもつとあばれたいんだ、それなのに着物をいっばい着せてくれて暑くて暑くて苦しいんだ、それにぼくがこうして遊ぼうかと思つたといけんんだとか、あぶないの連続だもの、ぼくになるのもよういでないわ」「こんなことを赤ちゃんたちはいつか聞いています。ある日わたしはこんなことをいっている赤ちゃんに出会いました「きょうのママなんだか変だ、いつもいっばい出るオツパイが、力いっばいすつても出てこない、それに昨日は古本をやぶいてひとりで遊んでたらほめられたのにきょうはすくしくしかられて、やぶつてよかったのか悪かったのかわかんないや、あ、そういえばさつきママはパパと何かいいあいをしていたっけ」といったようにおかあさんはウツパンのはけ

口を子どもにする、胸に手をあてれば全部のおかあさんが思いあたることでしょうか、もっと巾のある人がらに努力したいものです。人がらがよくなることによつて子どももよい子になり、家庭が明るくなることはいうまでもないことです。それでは乳児期を終えて、次にもう少し大きくなった幼児についてお話ししましょう。
 幼児の発育といえは、まず動眼筋肉が発達し、首がすわり、腕がしっかりする。腹ばいになると頭を持ちあげ腕で上半身をささえ物をよく握る。すわらせると丸かた背中がまっすぐになり、ひとりで歩ける。次にはいだし、立つ、歩く、階段をあがり走るようになります。第一伸長期といつて三、四才ごろまで丸く太つていたからだが五才から七才ごろまでにすらくとした感じのからだになります。八才から十才ごろまたズングリしたからだになり十一才ごろから第二伸長期にはいります。
 季節も発育に関係し、春から夏にかけて身長が増加がいちぢるしく、秋から冬は体重が増加します。秋になつても太らなかつたらどこかからだが悪いのです。発育するにつれ体質も変わり、皮膚や粘膜がただれやすかつたのが、幼児期にはリンパ質という体質になり、疫病や自家中毒を起したりヘントウセンやアデノイドが大きくなります。六才から十二才ごろになると神経炎質という体質になり、からだのあちこちが痛みます。このように子どもは外観だけでなく生理状態や体質もいろいろに変化してゆくのです。

町の掲示板

※調理師講習と試験
 調理師の特例講習については、ことしも九月下旬から十月中旬ごろまでの間に予定されております。講習はこととして打切られますので、次の資格をもつ受講希望者は五月下旬までに役場衛生係へ申し出て、所定の手続きをすませてください。
 受講資格のある者
 1 昭和三十三年十一月九日以前に調理の経験五年以上の者

※狂犬病予防注射実施
 四月十日(水)
 五月八日(水)
 六月六日(木)
 七月一日(月)
 八月一日(木)
 九月二日(月)
 十月二日(月)
 十一月二十三日(土)

※仁田部落農休日
 このほど次のようにきまりました。仕事の段取りをつけて、みんなで楽しく休みましょう。

2 店舗をもつた魚屋さんで、経験五年以上の者
 田中 真夫 正義長男 小白倉
 羽鳥 信明 副太郎 二男 木落
 山田 晴江 春茂長女 仁田
 井川 明弘 昇 二男 新町新田
 大滝 てるみ 清一 二女 上野
 押木 久美子 米作長女 元町
 水品 隆芳 亀代満 二男 新町新田

戸籍の窓から
 うぶ声 御すこやかに

中村	順子	善春長女	坪山
数藤	卓歩	清治長男	沖立
川崎	進一	保 長男	木島
渡辺	孝一	二長男	東善寺
村山	久子	欣一長女	伊友
黒島	久子	善一長女	伊友
相崎	守	守太長男	沖立
高橋	一弘	弘二長男	坪山
鈴木	昭浩	操 三男	永久公舎
高橋	智子	正夫長女	永久公舎
菅原	貴子	利昌二女	山野田
高橋	玲子	正春長女	田戸
高橋	孝子	清 長女	中仙田
小川	和春	和助二男	赤谷
増田	敬子	嘉一長女	室島
長谷川	明美	常夫二女	赤谷
押木	浩	英一 二男	田戸
田畑	正二	正作二男	赤谷
押木	昇	正登長男	田戸
高橋	功	克義二男	大白倉

昇天 御めい福を祈る
 片桐 タケ 小白倉 九〇
 長谷川 セイ 学校町 七四
 平野 トメ 中島町 七三
 小川 トメ 越ヶ沢 七二
 小幡 熊吉郎 仁田 六九
 川崎 虎平 室島 七一
 小林 久蔵 中仙田 六四
 若山 ナヲ 新町新田 六〇
 小川 和春 赤谷 六〇

たかさご 御円満に
 ◎新婦 高橋 正義 中仙田
 ◎新婦 小松 貞子 東京から
 ◎新婦 川崎 博 室島
 ◎新婦 高島 京子 東京から

かわにし 俳壇
 太田白南風選
 小白倉 江口 凡石
 ○開け閉りに鈴がなるなり梅の木戸
 わだち跡より雪消の水流る
 野口 寅 夫
 校庭の雪の芸術日脚のぶ
 舟どめの立ふだありし雪解川
 春日焼顔を気にしつ就職す
 大倉 金子 洋石
 山の井の辺り明るしふきのとう
 春雨や貫ひ湯に來て長ばなし
 星名新田 渡辺チャウ
 雪の底わら打つ音のひびきをり
 寄宿舍の小さきこけしの雛かざり
 大倉 夢 人
 かげろうの土手に鼓びて写生の子
 新任

※庁内人事
 助役総務課長事務取扱田口一男
 財政課 高橋代利子
 橋出張所保健婦 中条 栄枝
 橋出張所看護婦 高津 早苗
 中央公民館使了 上村 和子
 千手保育園保母 馬場ヒデ子
 産業課 富井相四郎
 収入役室 齊藤恵美子
 退職 齊藤恵美子
 橋診療所炊事婦 大久保トクエ
 助役 押木 利成
 産業課 高橋とし子
 千手保育園保母 平原 邦子
 千手保育園保母 尾身 セツ

おわび
 前号「戸籍の窓」のうぶ声中、中村邦子 二女 大白倉は中村邦子 昭二女 大白倉は町の掲示板の囁託員さまの中、越ヶ沢は川崎真一郎でした。訂正しておわびいたします。

編集後記
 ビカビカのランドセルに新調の服、上級生に手をひかれて面はゆげにかわいくほほえましい新入学児童の姿が見られます。ことしは入学児童に対して教科書(四三三円)が無償で給与されました。義務教育いっさいの経費は国が負担すべきで結構なことであるといひながら何かすっきりしない動きが感じられるといひます。教師に選択権があるべき教科書が都道府県教委や選定審議会の選択へまた少数の大資本の出版社のものにかざる。国定的な傾向になりつつあるとも心配されているからです。個々の児童の教育の関心のみでなく、今後広く教育行政への注目も忘れてならぬ新学期であると思ひました。